

特許第4456573号

# 映像抽出装置および映像抽出プログラム

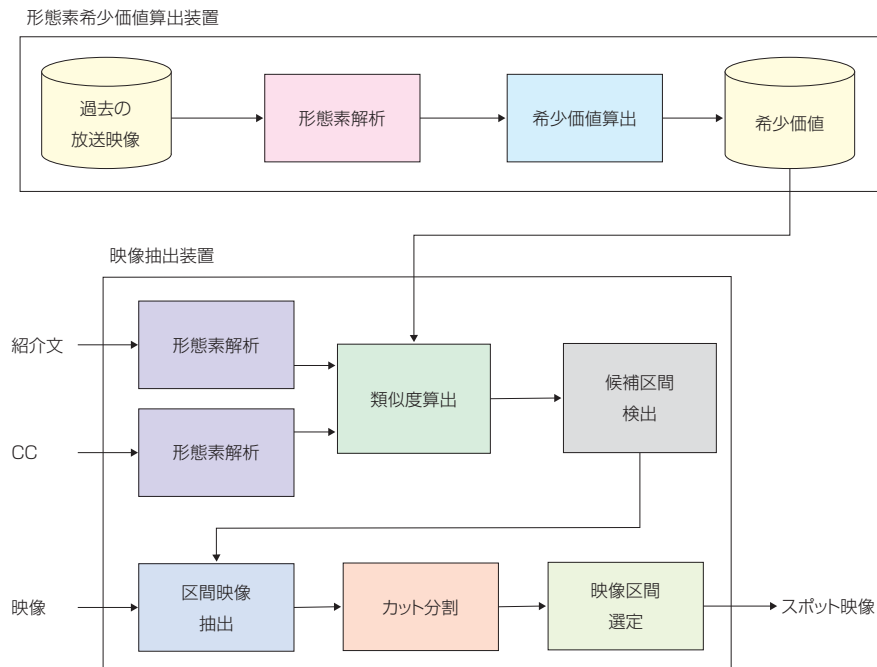
## 特徴と利用分野

本発明は、映像内容を説明するテキスト情報に基づいて、対応する映像区間を抽出する映像抽出装置に関する技術である。電子番組表などから入手した番組紹介文と、番組音声の書き起こしであるクローズドキャプション（CC）あるいは音声認識結果とを対応付けることで、番組紹介文に対応する映像区間を抽出する。本発明により、元の映像から番組内容を短く紹介するための番組スポット映像を自動生成することが可能となる。

## 技術概要

本発明の概要を1図に示す。本装置は、過去の放送番組の番組紹介文およびCCに含まれる形態素（テキストにおいて意味を持つ最小の単位）の希少価値を算出する形態素希少価値算出装置と、スポット映像を生成する映像抽出装置で構成される。形態素の希少価値は過去の放送番組における形態素の出現傾向（エントロピー）に基づいて算出し、番組紹介文とCC文の類似度を算出するための重み付けに利用する。映像抽出装置では、まず、番組紹介文とCC文の形態素を比較して番組紹介文に最も類似したCC文を選択し、選択されたCC文に対応する映像区間を抽出する。このとき、カメラの切り替え点やカメラ動きを考慮して、映像区間の時間範囲を調整する。最後に、抽出された映像区間を連結し、スポット映像として出力する。本装置を利用することで、元の映像を短く紹介するためのスポット映像を自動的に生成することが可能となる。

(発明者：河合吉彦，住吉英樹)



1図 本発明の構成